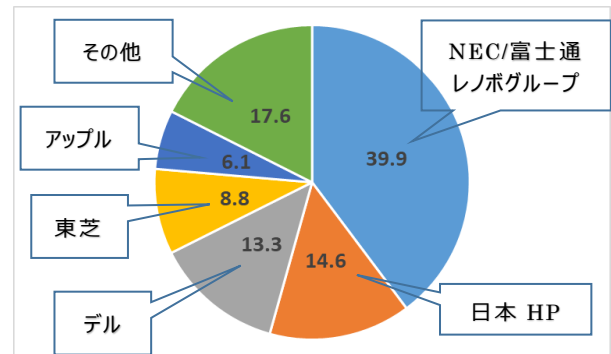


Windows 10 の最新バージョン

現在のパソコンの基本ソフトの主流はWindows10です。家電品の量販店に並べられているパソコンにはWindows10が搭載されて販売されている。2018年の日本のパソコンの出荷台数は世界的IT専門調査会社IDC Japanによると前年比7%増の1,100万台で2019年もこの傾向は継続すると予測している。国内のパソコン販売のメーカー別のシェアは下図のとおりだ。

本誌の昨年10月号に書いたが、パソコンは1980年代に一般に発売されるようになり、1995年にWindows95が搭載されてから世帯普及率は10%台から急速に増加して2018年には80%を越える普及が進んでいる。ほぼ3年ごとにバージョンアップ版が発売になり目覚ましい進化を楽しんだものだが、利用者の費用負担は大変だった。2015年にWindows10が発表になったときそれ以前のWindow8からのバージョンアップは無料で提供された。それだけ普及率が上がり完成度が高まったといえる。それ以来、毎年春と秋にバージョンアップ版が無料で提供される。ところが、これがなかなか厄介なのである。このアップの作業はパソコンをネットに繋ぎ4、5時間を要する。マニアックにパソコンを楽しんできた世代の者には容易な作業であるが、パソコン初心者のシニア世代には容易ではない。



図：2018年パソコン出荷台数シェア(%)

Windows10の最新バージョンは昨年10月に提供されている。2015年からの無料でアップデートされ、ウイルス対策やセキュリティ機能の強化とともに主な改良や新機能は次の表のようなものだ。

提供年月	バージョン名	主な改良と新機能
2015年11月	1511	日本語による音声応答が可能となる
2017年4月	1703	3Dグラフィックが簡単に作れる機能の追加
2017年10月	1709	クラウド(One Drive)機能が標準装備される
2018年4月	1803	使用履歴や複数アプリの扱いが容易になる 主メモリ(RAM)は8GBがおすすめ
2018年10月	1809	スマホとの連携を強化

現在使用中のパソコンは最新のバージョンであることを確認しておこう。今年の春バージョンが間もなく発表されるだろう。それに備えるためにも、主メモリ(RAM)は8GBに増強し、大容量内部メモリーHDDをSSDに交換して高速化することがお勧めだ。パソコンがさくさく動くようになる。

パソコンのバージョンアップについてご相談やお困りの方は当NPOにお気軽にお越しください。